

【年間テーマ：抑制の取り組みと教育】

平成 27 年 6 月 16 日提出

日付	平成 27 年 6 月 13 日 (土)			
場所	天神福ビル		記録者名：中島 文江	
出席者 (敬称略)	赤間病院 山口 優子	松尾病院 八田 恵美	社会保険稲築病院 沖 ひろ子	
	東福岡和仁会病院 倉内 章子	水戸病院 岡部 幸子	福岡和仁会病院 中島 文江	
	緑ヶ丘病院 福重 友美	北九州湯川病院 守 千津子		
テーマ	・各施設の抑制の現状報告 ・取り組んでいること			
結論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抑制をしていない病院が (2) ・ 抑制委員会を立ち上げている病院 (3) ・ 各病院共 1 回/W~1 回/M は必ず抑制についての評価、検討をしている ・ センサーマットは各病院 (病棟) によっては身体抑制としては、捉えていない所もあるが、行動制限によるストレス出現の要素ともなりうる。 			
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミトン使用者に対して工夫している事やしないですむ成功例 ・ 車椅子からの立ち上がり行為の患者への対応 ・ センサーマットの使用状況 <p>*上記を持ち帰り検討</p>			
備考	<p>今回センサーマットに関しては、同意書の有無、及び抑制が否かが、検討されました。厚生労働省の「身体拘束ゼロの手引き」の中では、センサーマットは記述されていません。しかし、使用法により患者にストレスを与える事となると、抑制になるのでは？と考えられます。今後もセンサーマットの使用に関しては、他の病院と意見交換しながら、患者さんに安全な環境を提供出来る事を常に念頭に置き検討していきたいと思います。</p>			
次回討論項目	6 月の検討結果の報告、困った事例についての意見交換			

